

新公立病院改革プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

稲沢市民病院

【地域医療構想を踏まえた役割】（P8, P9）

尾張西部構想区域の平成 27 年の病床数と平成 37 年の必要病床数は、高度急性期が 99 床に対して 308 床増の 407 床、急性期が 2,599 床に対して 1,205 床減の 1,394 床、回復期が 548 床に対して 960 床増の 1,508 床、慢性期が 549 床に対して 64 床増の 613 床となっており、回復期機能の病床を確保することが課題と結論付けています。

稲沢市民病院では、引き続き医師や看護師など医療スタッフの充実に努める一方、地域の医療需要を見極めつつ、現在休床中の 46 床を平成 31 年度中に開床できるよう計画しています。

今後更に少子高齢化が進むことで、回復期の医療需要が増加し、急性期医療の需要が減少していけば、現在の急性期病棟を回復期病棟に機能変更する必要に迫られることも考えられます。しかしながら一方で、地域の中核病院として二次救急医療を担当し、急性期機能を維持していく責務もあると考えます。

地域医療のニーズに応じていくためには、当院だけではなく、構想区域内の医療機関間で病床機能を調整していくことが必要です。現在、愛知県主導のもとで、尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会が設置されています。今後はここでの協議により病床機能の調整が進められていく予定です。各医療機関が病床機能を変更していくことは容易なことではありませんが、近い将来と遠い将来を見据え、圏域全体の中での当院の担う役割を見極めていきます。

【再編・ネットワーク化】（P15）

愛知県地域医療構想で示された尾張西部構想区域の平成 37 年における病床数推計では、総病床数は大きな変動はないものの、機能区分の変更が必要で、急性期を削減し、回復期を確保しなければならないという結論でした。

当院でも、平成 31 年度中に開床を予定する病棟は本構想の趣旨に沿うよう計画していきますが、医療圏域内にある病院全体で機能区分を検討していかなければなりません。

平成 29 年 2 月に尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会が設置され、本格的な協議はこれから始まっていくところです。関係機関の協力連携により地域全体をカバーしていかなければいけません。調整の結果、市民病院としてのあるべき姿を見直さなければならぬときには、住民の理解を得られるようすすめていきます。

【数値目標について】（P11～P13）

医療機能等指標に係る数値目標

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
救急患者数(人)	9,400	9,900	10,400	10,900
救急車受入数(件)	2,900	3,000	3,200	3,300
手術件数(件)	2,400	2,400	2,400	2,400
紹介率(%)	50.8	51.9	54.0	55.3
逆紹介率(%)	37.7	38.6	40.2	41.2
入院患者満足度(%)	83.0	85.0	88.0	90.0

経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
経常収支比率(%)	94.2	97.8	95.5	94.9
医薬収支比率(%)	81.7	84.6	85.0	87.0
資金不足比率(%)	△2.4	△3.9	△6.3	△6.5
累積欠損金比率(%)	△49.1	△48.8	△54.3	△60.7

② 経費削減に係るもの

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
材料費対医薬収支比率(%)	12.7	12.5	12.1	12.0
薬品費対医薬収支比率(%)	9.6	9.8	9.5	9.5
委託費対医薬収支比率(%)	13.4	12.7	13.1	12.5
職員給与費対医薬収支比率(%)	63.0	61.8	62.5	62.2
後発医薬品使用割合(%)	86.0	86.3	86.6	87.0

③ 収入確保に係るもの

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
年延入院患者数(人)	82,125	89,314	89,583	89,338
年延外来患者数(人)	145,800	151,240	151,240	151,240
入院平均単価(円)	49,766	49,859	50,315	50,776
外来平均単価(円)	10,538	10,894	10,994	11,095
病床利用率(%)	82.1	89.3	89.3	76.5
平均在院日数(日)	11.0	11.0	11.0	11.0
	24.0	24.0	24.0	24.0
健診受検者数(人)	5,100	5,130	5,160	5,200

※平均在院日数の上段は急性期病棟、下段は地域包括ケア病棟

④ 経営の安定性に係るもの

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
医師数(人)	39	44	45	45
看護師数(人)	240	250	260	260
企業債残高(千円)	7,551,517	6,882,274	6,464,062	6,149,880